



# かわらばん

## 愛される消防団をめざして

飯能消防団

団長 金子堅造



阪神大震災をはじめとして各地で災害がおき、地域に根ざした消防団の責務の重大さを痛感しております。

今後も施設、装備の充実強化を更に働きかけ、常備消防との円滑な協力体制を維持して活動していきたいと思えます。また市民一人一人の防災意識が向上するよう、広報活動、交流活動を活発に行い、市民との連帯感を強め安全な街づくりを心掛けてまいります。

来春、精明地区に完成する防災センターを拠点に、消防団の活性化を推進してまいります。

今後も市民に一層愛される消防団を目指し努力してまいります。ご協力をお願い申し上げます。

## 市民と消防団

飯能市消防後援会連合会

会長 井上木平

飯能市には消防後援会と言う組織があります。これは県下でも数少ない団体です。後援会は消防団を側面から応援し、各分団ごとに組織され行事を後援しています。地元で火災があった場合は自治会と共に支援いたします。

後援会は市民とも密接な関係にあり、団員の励みにもなっています。阪神大震災のような災害が起り、消防署の救援が困難なとき、頼りになるのは地元の消防団です。常日頃市民と団員が相互理解をはかっていたれば、有事の際には団員の積極的な活躍が期待できます。

後援会は今後とも団員と市民の橋渡しとなっていく所存です。さらに消防本部・消防署と消防団との融和をはかるうえでもいろいろと協力していきます。これからは消防団の存在がますます重要になってまいります。団員の活躍を祈念してやみません。



▲特別点検 一斉放水訓練 平成6年12月1日 飯能河原

## 入団式

毎年四月の第一日曜に挙行されます。今年は四十一名に団長から辞令が渡され、ピカピカの新人団員が誕生しました。式の後には富士見小学校校庭に移り、小学校以来と思われる「右向け右、廻れ右」などの基礎訓練が行われます。



# しています

朝はどことなくギクシャクした制服姿ですが、終了する頃になると、新しい帽子に敬礼する姿が様になってきます。自分達の街は自分達で守る精神でがんばりましょう。



## 野球大会

今年度新に加わった行事です。五月に飯能市議会議員チームと美杉台グラウンドで対戦しました。戦前、議員チームはかなりの強豪と予想され、絶好調との情報もつかんでいましたので、数回にわたって練習し試合に臨みました。結果は一回から消防団の猛打が爆発し、ワンサイドゲームになってしまいました。楽しかった野球の話でその夜の懇

親会は盛り上がりました。普段話す機会の少ない議員さんといろいろな話しができて、有意義な大会でした。



## 団幹部研修旅行

分団間の交流を活発にし、団幹部との連帯を図るため、毎年七月に開催されています。今年は八十名の中年男が熱海に向かつてバスに乗り込みました。車中では他分団の団員とも和気あいあいに過ごし、懇親が深まりました。到着後会議が開かれ、防災訓練について綿密かつ真剣に協議されました。夜の懇親会は会議とは打って変わって、賑やかになりました。同じ使命を持つ者同士が盃を交わせば話しも

弾みます。翌日は大山阿夫利神社に参拝し、団長以下、飯能の平安をお祈りしました。

## 消防操法大会

技術の向上と訓練の成果を発揮するために二年に一度七月に開催します。火災を想定し、器械器具の設置から放水・取納までの一連の操作を速度と節度で競います。練習は分



団毎に行われ五月頃から始まります。週の数日、仕事を終えてから集まり、操作の反復練習を何度となく続けます。大会当日は、長い練習に耐えた達成感と夜の練習がなくなるといふ解放感に包まれます。この大会を経験することで、分団の結束は更に固まります。

## ゴルフ大会

消防団の活動は、訓練ばかりと思われがちですが、楽しい行事もいろいろあります。中でも毎年八月に行われる分団対抗ゴルフがその一つです。各分団より数名出席し、全体で六十人程になる大きなコンペです。このゴルフは団員間の交流と親睦、協調性を図るために開催します。猛暑の中、セミプロ級から初めてクラブを握った人まで、汗をかきかきプレーします。終わった後は体重も減り、またピールの味も格別です。パーティーは最高に盛り上がり、これを楽しみに参加している人も少なくありません。みんな夏が楽しみます。



# こんな活動

## 防災訓練

二年に一度、焼け付くような真夏の太陽の下で「飯能市防災訓練」は開催されます。

この訓練は先の阪神大震災のような大規模災害を想定し消防関係者のみならず、一般



市民の方々を交え、市を上げて行われる大掛かりなもので、初期消火訓練、救急救護訓練を始め非常時に備えた様々な訓練が展開されます。

「自分たちのまちは自分たちで守る」そんな気概をみなぎらせ参加者は皆、真剣そのもの。額に汗しながら、日頃の備えの大切さを実感する一日です。

## 救急講習会



けが人や急病人が出たとき、応急処置を行うことで命を救えることがあります。救急隊が到着するまでの応急処置を修得するため、一昨年より救急講習を受講しています。内容は、三角巾による止血法、

人工呼吸法、心臓マッサージによる心肺蘇生法などで、実践しながらに熱心に受講しました。現在二五二人の団員が普通救命講習終了証を取得しています。今年の夏には消防団員が一人の命を心肺蘇生法により救いました。

## 飯能まつり

勇壮な賑わいの中にこそ、安全を確保することが求められます。老若男女、お祭りに

参加している人達すべてが、事故なく楽しく過ごせるよう、山車に付き、街角に立ち、迷子を抱いています。パレードやお囃子を見るためには、人波の前に行かなければなりません。その気持ちを十分過ぎるほどわかっている団員ですが、「まっと下がってください」と声を出し、笛を鳴らしています。「愛と誠実の警備」を心掛けていますので、皆様のご協力をお願いします。

## 特別点検

毎年十二月一日に一年間の総決算として、挙行されます。

早朝より来賓が多数臨席する中、小山市長が点検官となり、全分団が点検を受けます。観閲、服装規律の点検、礼式訓練、消防操法、飯能河原での一斉放水訓練等を行います。点検終了後は、各地区で後援会主催による慰労会が開催されます。席上、優良消防団員、火気取扱優良家庭等の表彰伝達も行われ、地域の方々と親睦を深めています。

## 出初式

消防団の新年は出初式で明けます。江戸の町火消しの頃から続く伝統の儀式で、季節の風物詩にもなっています。飯能消防団では一月の第二日曜日

に第一小学校校庭で開催します。式は通常早朝から屋外で挙行されるので、寒さは大変厳しく身が引き締まります。しかし、正月気分から抜けるにはちょうど良いのかも知れません。小山市長や来賓が臨席する中、観閲、服装規律の点検等が行われます。勇壮な中にも市民の皆様の一間の安全を願い、消防団の一

年が始まります。来春の防災センターの完成が待たれます。



## 火防巡視

毎年三月の第一日曜日に消防団員全員で実施します。それぞれの分団で担当区域を分け、数人が一組となって各家庭を巡視します。主な点検項目は、一・石油タンク（ポリタンク）の保管場所、二・プロパンガスの転倒防止器具の設置状況、三・一人暮らしの老人のホームサイレンの確認などです。これらについて安全が確保されていないときは注意や修正を行います。地域の皆様の防災に対する理解とご協力をお願いします。

12月1日(金)8時より第一小学校で市消防機関特別点検が行われます。ぜひご来場ください。

**心掛けよう交通安全**

今年飯能市は、交通死亡事故多発により、交通事故防止特別対策地域に指定されています。

消防団員は、交通安全についても日頃から指導を受けています。秋の団員訓練時に交通法規講習を受講したり、交通事故防止コンクールへ参加

**消防団に入つて**

したりしています。市民の皆様の模範になるように日頃から安全運転を心掛けていきたいと思ひます。

阪神大震災が発生した年に消防団に入団した私は、責任の重大さを改めて認識しています。画面に映し出された被

**消防団に入つて**

災地で、懸命に救出活動や消化作業をする消防関係者の姿は、今も心に残っています。これから経験豊かな先輩方の指導により、防災訓練や救急講習・器具点検などを積み重ね技術を身に付けていききたいと思ひます。

地域の皆様の協力によって活動できる消防団です。社会人として成長する良い機会だ

飯能消防団役員一覧						
団名	氏名	住所等	団名	氏名	住所等	
本 部	団 長	金子堅造	消防署内	分 団 長	金子隆	
	副 団 長	小久保勝弘		副分団長	今泉一夫	
	副 団 長	柿沼敏夫		本部部長	菊地大吉	
	副 団 長	田淵誠太郎		1 部 部 長	清水伸次	岩 沢
	分 団 長	加藤 潔		2 部 部 長	梶田 清	川 寺
第一分団	部 長	小川 勝	3 部 部 長	大久保利昭	落 合	
	分 団 長	山崎勝義	4 部 部 長	穴戸浩信	矢 區	
	副分団長	沼崎修一	分 団 長	黒米正幸		
	本部部長	須田 浩	副分団長	関谷幸夫		
第二分団	1 部 部 長	安藤完二	本部部長	志村和男		
	2 部 部 長	小峰泰男	1 部 部 長	新井浩昭	小久保	
	3 部 部 長	佐藤昌宏	2 部 部 長	小島良造	平 松	
第三分団	分 団 長	鈴木弘一	3 部 部 長	小川英之	双 柳	
	副分団長	大澤正欣	4 部 部 長	早野充明	浅 間	
	本部部長	佐島孝治	分 団 長	加治典男		
	1 部 部 長	武居芳明	副分団長	大野正巳		
第四分団	2 部 部 長	長岡日出男	本部部長	大窟信行		
	3 部 部 長	木下忠雄	1 部 部 長	曾根敦夫	原 市 場	
	分 団 長	横山和也	2 部 部 長	西村光夫	下 赤 工	
	副分団長	橋本秀夫	3 部 部 長	佐野友幸	中藤中郷	
	本部部長	島崎好司	4 部 部 長	中島 進	赤 沢	
第五分団	1 部 部 長	久下光正	5 部 部 長	関口宏年	中 沢	
	2 部 部 長	小沢政彦	分 団 長	金子 総		
	3 部 部 長	武末亮一	副分団長	若林誠一		
	4 部 部 長	駒井康雄	本部部長	大野正幸		
	5 部 部 長	粕谷敏久	1 部 部 長	小林正治	井 上	
第六分団	分 団 長	堀口純男	2 部 部 長	岡田昇	白 子	
	副分団長	細田正之	3 部 部 長	加藤成夫	虎 秀	
	本部部長	加治文幸	4 部 部 長	行平 晃	瀬 尾	
	1 部 部 長	細田成一	5 部 部 長	栗原和吉	風 影	
	2 部 部 長	山川 浩	分 団 長	加藤幸男		
第七分団	分 団 長	木崎秀尚	副分団長	大河原 弘		
	副分団長	木崎稔生	本部部長	浅見照雄		
	本部部長	馬場茂幸	1 部 部 長	宇川恒夫	坂石町分	
	1 部 部 長	松下裕司	2 部 部 長	木村文男	坂 石	
	2 部 部 長	青木和浩	3 部 部 長	田中充宏	吾 野	
第八分団	3 部 部 長	石森一雄	4 部 部 長	浅見 実	南 川	
	4 部 部 長	大野祐司	5 部 部 長	田 中	北 川	



と、がんばっています。

編集後記 第二号の「かわらばん」を発行します。市民の皆様の中にも、消防団員として活躍された方がいらつしやると思ひますので、どうぞご覧になってください。昭和二十二年に飯能消防団が結成されてから第八代・金子団長まで諸先輩の努力のおかげで、県内でも優秀な消防団として評価されています。団員が編集したこの紙面を通して、私達の活動にご理解・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

副団長 田淵 誠太郎

編集委員 加藤 潔

本部部長 木崎 幸長

第一分団 沼崎 修一

第二分団 大澤 正欣

第三分団 島崎 好司

第四分団 細田 正之

第五分団 馬場 茂幸

第六分団 今泉 一夫

第七分団 関谷 幸夫

第八分団 大窟 信行

第九分団 大野 正幸

第十分団 久保 紀夫

題字は吉田行男様にご協力いただきました。